

製品名: FMRP ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01413**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.14mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 71 kDa; Observed MW: 70-80 kDa

抗原情報

遺伝子名	FMR1
別名	FMR1; Fragile X mental retardation protein 1; FMRP; Protein FMR-1
遺伝子 ID	2332
SwissProt ID	Q06787
免疫原	ヒト FMRP の合成ペプチド

背景

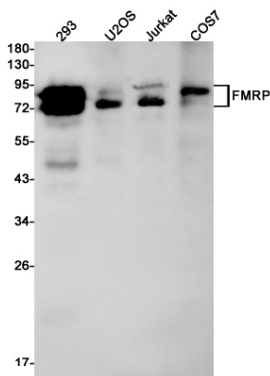
この遺伝子によってコードされるタンパク質は RNA に結合し、ポリソームと関連しています。コードされているタンパク質は、核か

ら細胞質への mRNA の輸送に関与している可能性があります。5' UTR のトリヌクレオチドリピート (CGG) は通常 6 ~ 53 コピーで見られますが、55 ~ 230 コピーに拡大すると脆弱 X 症候群の原因となります。

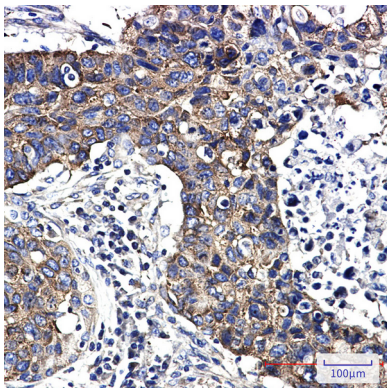
研究分野

神経科学

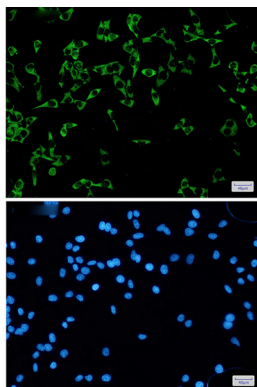
画像データ



FMRP 抗体を使用した 293、U2OS、Jurkat、COS7 溶解物中の FMRP のウエスタンブロット分析。



FMRP 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



FMRP 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の FMRP (緑) の免疫細胞化学分析